

～「Ubiquitous（ユビキタス）」とは「どこにでも存在する」を意味するラテン語。

「いつでも、どこでも、だれでも」関わることのできるネットワーク環境のこと～

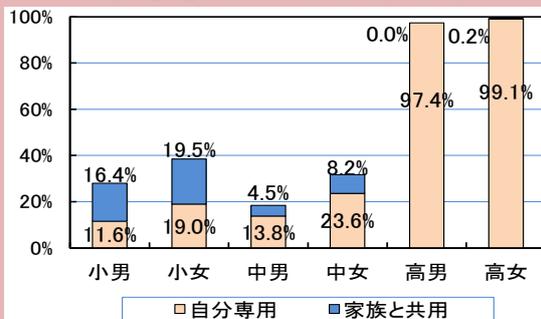
「携帯電話とインターネットについてのアンケート」の結果から

スマートフォンや無料通話アプリの利用に関わる生徒指導上のトラブルが増加しています。そこで、2年毎に実施しているアンケート調査（前回は平成24年9月実施）ですが、今年度も、無料通話アプリや携帯電話以外のインターネットに接続できる情報通信端末などに関する質問項目を追加して実施しました。その結果についてお伝えします。（調査時期：平成25年7月、調査対象：小学校8校4～6年714名、中学校10校925名、高校12校1,272名）

調査結果の詳細については、各校にメール配信しました。また、県教育委員会ホームページにおいて今月中に公開しますので参考にしてください。（次ページ最後にあるURLからアクセスできます。）

ケータイ利用の低年齢化

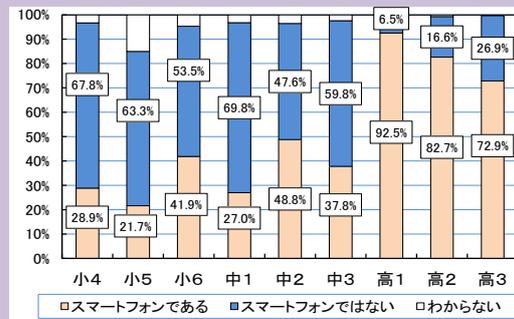
「携帯電話を所持している児童生徒の割合」



前回調査と比較すると、小学生が「家族と共用」の携帯電話を所持している割合が大きく増加しており、携帯電話利用の低年齢化が進んでいます。

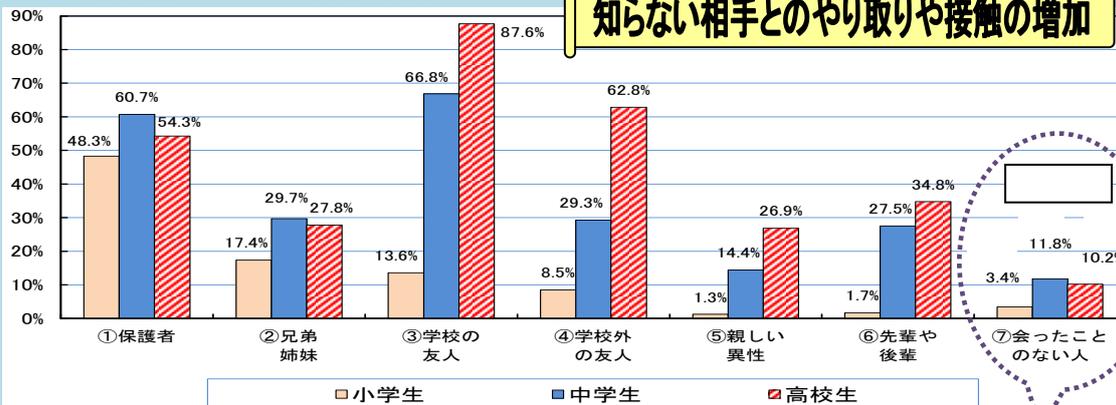
スマホ利用の急増

「所持している端末がスマートフォンである割合」



高校1年生の9割以上、高校2年生の8割以上がスマートフォンを所持しており、高校生を中心にスマートフォンの利用が急速に拡大しています。

「携帯電話でメールのやり取りをする相手」



知らない相手とのやり取りや接触の増加

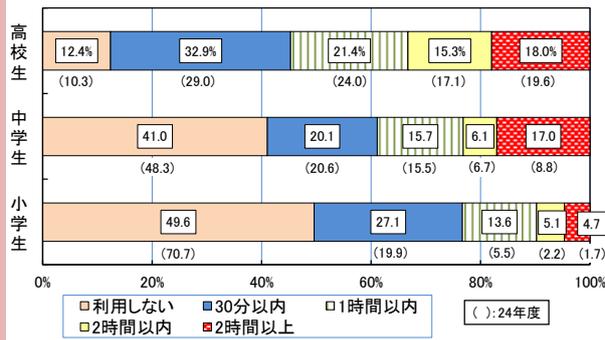
「ネットで知り合った人と実際に会ったことがある児童生徒」

	小学生	中学生	高校生	
インターネット利用者に占める割合	1.3%	1.6%	5.9%	
理由	ひまだったから	16.7%	11.1%	41.5%
	おもしろそうだったから	33.3%	11.1%	21.5%
	話し相手がほしかったから	—	22.2%	1.5%
	相手のことをもっと知りたかったから	50.0%	55.6%	35.4%

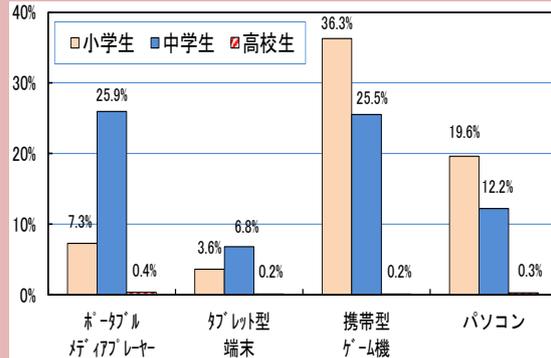
メールを利用している中・高生の1割強が会ったことのない人とやり取りをしています。また、ネットで知り合った相手と実際に会っている児童生徒もいます。知らない相手とのネット上でのやり取りに関するルールやマナー、危険性について、指導の徹底を図る必要があります。

ネット利用の低年齢化

「携帯電話でネットを利用する時間」



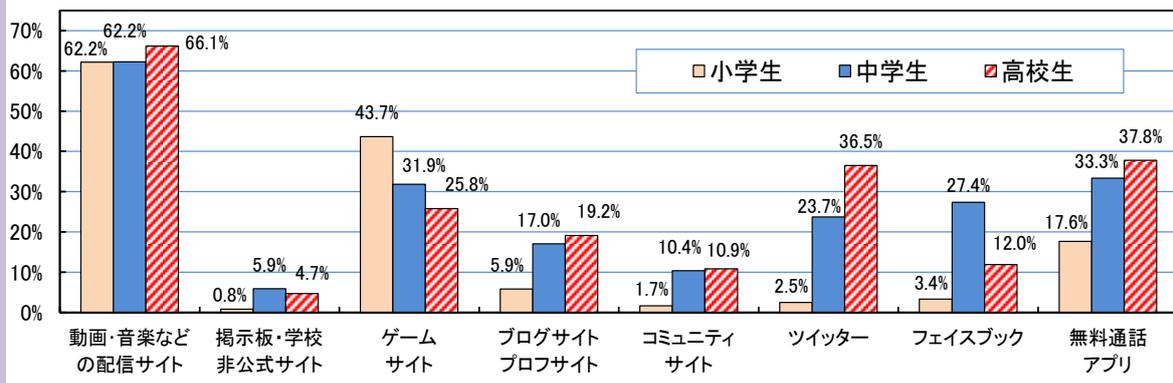
「携帯電話は所持していないが、ネット利用に使っている別の端末機器」



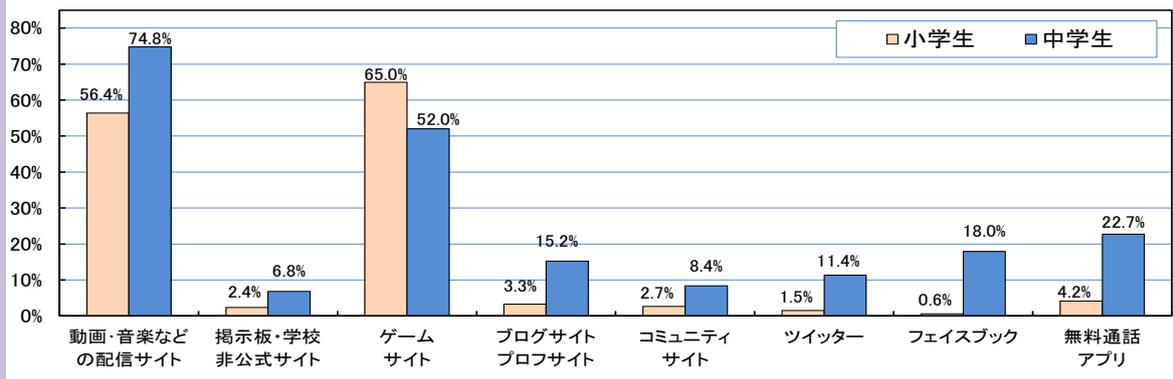
携帯電話利用の低年齢化やスマートフォンの普及から、前回調査と比較すると、小・中学生のインターネットの長時間利用の割合が増加しています。また、携帯電話を所持していない小学生の3分の1以上、中学生の4分の1以上が「携帯型ゲーム機」から、また、中学生の4分の1以上が「ポータブルメディアプレーヤー」からインターネットに接続しています。

無料通話アプリやSNSの利用の拡大

「携帯電話からよくアクセスするサイト」



「携帯電話は所持していないが、別の端末機器からよくアクセスするサイト」



各年代とも、動画や音楽などの配信サイトやゲームサイトの利用率が高くなっています。中・高校生では、「ツイッター」や「フェイスブック」などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や、「LINE」などの無料通話アプリの利用率も高くなっています。中学生のフェイスブック利用率が高い理由として、「LINE」を利用するために、携帯電話番号かフェイスブックのアカウントが必要であるためと思われます。

※ 「ユビキタス@nagano」のバックナンバー等、指導資料をご活用ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/ubiquitous.htm>

生徒指導総合対策会議事務局
Tel 026-235-7436 (直通)

担当：長野県教育委員会事務局教学指導課心の支援室 生徒指導係
Fax 026-235-7495 E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp